

令和 7 年 11 月 20 日

守谷市議会議長 殿

報告者 滝川 竜雅
実好 敏正

令和 7 年度第 1 回 議会報告会報告

標記の件について、次のとおり 実施 したので報告します。

開催日		令和 7 年 11 月 15 日（土）午前 10 時から正午まで
場所		郷州小学校コミュニティスペース
対象地区		みずき野地区まちづくり協議会
参加者	守谷市側	寺田議長、長谷川副議長 梅木議員、高橋議員、高梨(恭)議員、山田議員、青木議員、 高梨(隆)議員、堤議員、渡辺議員、山本議員、田中議員、 首藤議員、海老原議員、小菅議員、菊地議員、滝川議員、 椎名議員、実好議員、永盛議員
	市民	40 名
次第		・開会 ・議長挨拶 ・みずき野地区まちづくり協議会の会長挨拶 ・出席議員の紹介 ・委員会活動報告 ・意見交換会 ・閉会

司会進行・山本議員

- ・ 「令和7年度 第1回 守谷市議会報告会 みずき野地区まちづくり協議会との意見交換会」を開会する旨を宣言。
- ・ 本日の進行、配布資料、録音・写真撮影（広報・SNS掲載目的）の実施について説明。
- ・ 第1部：各委員会からの報告、第2部：意見交換会という流れを共有。

本日の配布資料

1. 本日の次第
2. 議員名簿・市議会議員構成表
3. 令和7年度 守谷市議会 事業評価の提言
4. 各委員会の報告資料（決算予算特別委員会・総務教育常任委員会・都市経済常任委員会・保健福祉常任委員会・（仮称）守谷市総合公園の設置及び松ヶ丘六丁目市有地利活用に関する特別委員会）
5. 広報資料（議会だより等）
6. アンケート用紙

寺田文彦議長

- ・ お忙しい中、多くの参加に対する謝意。
- ・ 本報告会は、議会基本条例に基づき「開かれた・身近な議会」を目指す議会改革の一環として約10年前から継続しており、コロナ禍以降は各地域に議会が出向く形で開催している。
- ・ 第1部で委員会報告、第2部で意見交換を行い、頂いた意見を今後の市政に活かしていきたい。

みずき野地区まちづくり協議会 山下会長

- ・ 休日にもかかわらず多くの議員が参加していることへの謝意。
- ・ 常任委員会の役割は市民にはわかりにくい面もあるため、本日の説明を通じて議会への理解が深まることを期待する旨を述べた。
- ・ 本会は「質疑応答を求める場ではなく、決定事項を報告してもらったうえで、意見を出し合い、今後の議会活動に活かしてもらう場」となるので理解いただきたい。

司会

- 司会より、出席議員 20 名の氏名を読み上げ、それぞれが起立・簡単な挨拶を行った。

決算予算特別委員会報告（首藤 太亮委員長）

- 令和 6 年度決算概要：歳出は教育費・土木費・民生費が増加傾向。未来への投資と生活基盤への配分が強化されている。
- ふるさと納税：令和 6 年度の寄附受入実績が約 70 億円。寄付の 84%がアサヒビール関連製品であり、市の強力な財源となっている。

総務教育常任委員会報告（田中 啓一委員長）

- 事業評価「児童クラブ運営事業」：
 - 特に黒内小学校区での児童数増加に伴う児童クラブのひっ迫が課題。
 - 提言内容：専用棟の建設ではなく、学校施設（普通教室・特別教室）の機能転換による活用を提言。

都市経済常任委員会報告（渡辺 大士委員長）

- 事業評価「空家等対策事業」：
 - 「特定空き家」以前の「その他空き家（将来空き家になりそうな物件含む）」への対策に注目。
 - 提言内容：部課横断的な組織体制の検討や、空き家の発生抑制・流通促進を計画に盛り込むこと。

保健福祉常任委員会報告（堤 茂信委員長）

- 事業評価「ひとり暮らし高齢者緊急通報システム整備事業」：
 - 65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とした通報ボタン・駆けつけサービス。

- 。 提言内容： 委託業者の選定見直しや、対象者の拡大（障がい者世帯や日中独居の方など）を検討すること。
-

（仮称）守谷市総合公園設置および松ヶ丘六丁目市有地の利活用に関する特別委員会報告（高梨恭子委員長）

- ・ （仮称）守谷市総合公園：
 - 。 ヤクルト球団施設は令和 9 年 2 月完成予定。
 - 。 市公園施設部分は令和 14 年度の全体供用開始（完成部分から随時供用開始予定）を目指し、官民連携（Park-PFI）手法を導入予定。
 - ・ 松ヶ丘六丁目市有地：
 - 。 ワンダーグー用地は継続賃貸中。
 - 。 旧アジュール用地は、建物診断を実施し、今後行政活用（改修か解体か）の方針を決定する。
-

（休憩約 10 分）

意見交換会

<質問>

Q. 自治基本条例について、議会から市民への周知や見解が聞こえてこない。どう考えているのか。

A. （議員） 市長主導で策定が進められているが、議会側にはまだ具体的な素案等が降りてきていない段階である。議論が進んだ際には、議会としての考えをお示ししたい。

Q. 情報発信について。総合公園の巨額予算など、重要な情報が市民に伝わっていない。報告会だけでなく、もっと積極的な周知（議員個人の HP や SNS 等）や意見聴取の場が必要ではないか。

A. （議員） 個人の SNS 等で発信している議員もいるが、本会議へ傍聴に来ていただいたり、議会だよりや HP 上で公開している本会議の録画映像や議事録なども活用してほしい。

Q. 総合公園についてなぜ必要なのか。また、供用開始時期の改めでの確認。

A. （議員） 防災拠点としての役割（SA との連携）や、Park-PFI（官民連携）による国の補助金活用などを前提に進められている。ヤクルト施設は令和 9 年 2 月、公園全体は令和 14 年の供用を目指している。

Q. ひとり暮らし高齢者緊急通報システムについて。予算に対し、対象者への周知が足りていないのではないかと。

A. (議員) 予算の多くは委託料であり、周知費用ではないが、必要な方に届くよう広報のあり方を再検討するよう市に求めていく。

Q. ふるさと納税の経費率と、寄付金の使途について。

A. (議員) 返礼品（3割）や送料・事務費を含めると経費は約5割になる。残りの約半分が市の事業に充当される。

Q. 旧アジュール跡地の購入になぜ賛成したのか。

A. (議員) 将来的（20～30年後）な市庁舎建て替え用地として、財政に余裕があるうちに確保しておくべきと判断したため。現在は暫定利用の方針を検討中である。

<以下、意見>

【意見①】 みずき野地区の「けやき通り」「いちょう通り」「さくらの杜公園」の樹木管理がひどい。適切な管理をしてほしい。

【意見②】 議会のチェック機能について。ヤクルト誘致やアジュール跡地購入など、巨額予算に対して「賛成・反対」の検証が甘いのではないかと。高齢者福祉（老人会への助成等）もおざなりに感じる。

【意見③】 空き家対策と若年層への支援について。

1. 空き家バンクの登録がないのはアプローチ不足。所有者（市外在住含む）に対し、市から直接「貸しませんか・売ませんか」といった通知や代行サービスを案内すべき。
2. 高齢者支援も大事だが、街の存続には若い世代（特に女性や子育て世帯）が入ってきたり、Uターンするための施策が必要ではないかと。

【意見④】 総合公園の整備に関して、安全確保ができた段階で工事現場見学会などを開催し、市民に情報をオープンにすべきでは。

【意見⑤】 防災（インフラ断絶時の対応）についてシミュレーションしていただきたい。

【意見⑥】議員各位には、常に行政側の従来のやり方を自問し、コストパフォーマンスやメリットの観点から必要性を検討してほしい。

閉会

司会

- 活発な意見・質問に対する謝意を述べ、予定時刻を超過したため閉会とする旨を宣言。
- 退出時にアンケート用紙の提出を依頼（提出期限：11月23日まで、みずき野集会所にて受付）。

長谷川信市 議会改革推進会議会長

- 過去開催してきた議会報告会の中で最多に近い参加者数であり、多様で率直な意見を頂いたことへ感謝する。
- 住民からの意見を真摯に受け止め、今後の議会活動と市政の改善に活かしていく決意を述べ、閉会とした。